



LINTEC Integrated Report

リンテック統合報告書

2026

CONTENTS

リンテックの競争力

- 2 社是／経営理念
- 3 About LINTEC

- 4 価値創造の源泉
- 6 価値創造プロセス

成長戦略

- 8 社長メッセージ
- 14 長期ビジョン「LSV 2030」の全体像
- 16 マテリアリティ
- 18 財務戦略 CFOメッセージ
- 22 事業変革と成長加速に向けた重点施策
 - 22 特集1：利益体質への転換
 - 24 特集2：半導体関連事業の強化
 - 28 特集3：新たな成長エンジンの創出

- 30 事業戦略
 - 30 印刷材・産業工材関連
 - 32 電子・光学関連
 - 34 洋紙・加工材関連

経営資本の強化

- 36 経営資本一覧
- 38 三本部長 座談会：
三位一体の深化で切り開く持続的成長
- 42 研究開発・知的財産戦略
- 45 生産戦略

- 46 人材戦略
- 48 DX戦略
- 50 サステナビリティ戦略
- 52 環境
- 56 社会

ガバナンス

- 59 ガバナンス
- 64 独立社外取締役メッセージ

- 66 役員一覧

データ集

- 68 財務サマリー
- 70 外部評価

- 71 会社情報／株式情報

将来の見通しに関する記述

本報告書に掲載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。実際の業績などは今後のさまざまな要因によって異なる可能性があります。

報告対象範囲

対象組織

リンテック株式会社、国内外グループ会社

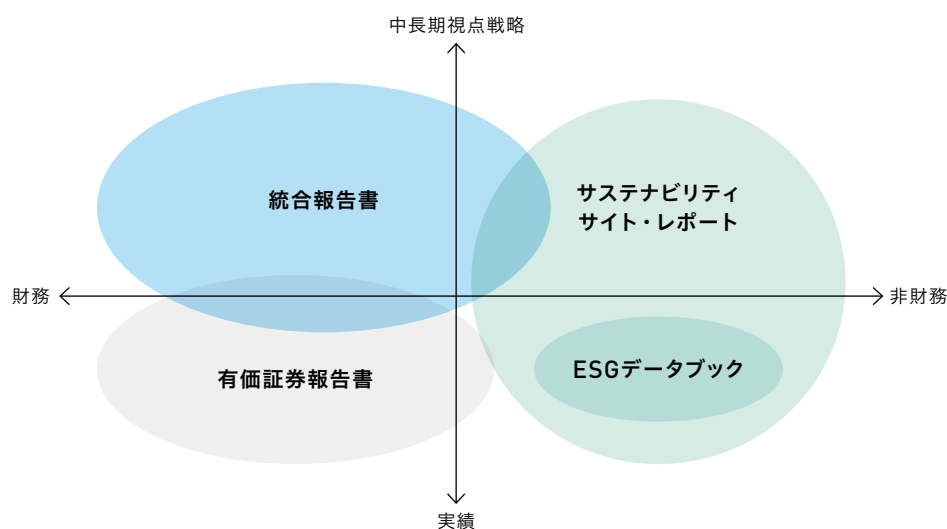
対象読者

株主・投資家を中心としたあらゆるステークホルダー

対象期間

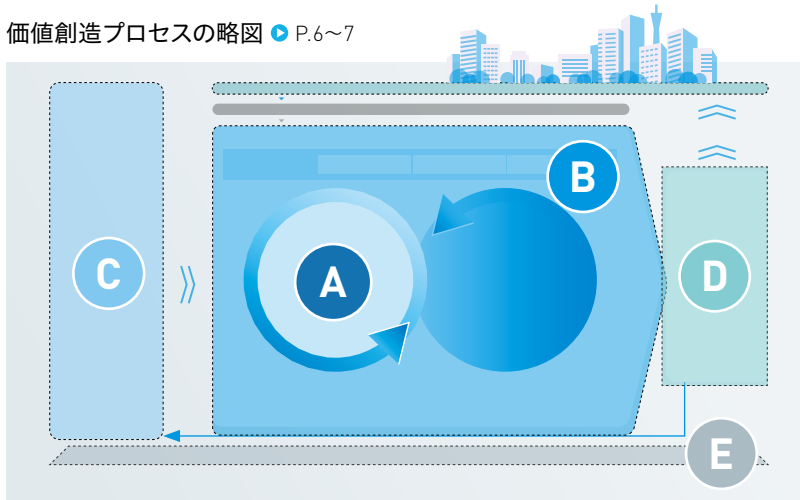
本報告書は2025年4月1日から2026年3月31日までを対象としています。一部の情報については2026年4月以降の内容を含んでいます。

リンテックの主な情報開示ツールと位置づけ



「統合報告書 2026」の読み方

価値創造プロセスの略図 ▶ P.6～7



社長メッセージ ▶ P.8～13

当社は創業以来、社は「至誠と創造」に代表される価値観を胸に、社会的課題やお客様のニーズに真摯に向き合ってきました。そして、これからもお客様にとっての「最重要かつ最強のサポーター」として、信頼され選ばれる企業であり続けます。

A 価値観と 磨き続けた力	事業活動の根幹には、社は「至誠と創造」の精神があります。これは、「いつの時代も世の中の役に立ち、喜ばれることを追求する」という、モノづくり企業としての原点を体現したものです。この価値観と、営業・研究・生産の三位一体を軸とする独自の競争力が、持続的な価値創造の起点となっています。	▶ 社は ▶ 価値創造の源泉 ▶ 三本部長 座談会：三位一体の深化で切り開く持続的成長 ▶ P.2 ▶ P.4～5 ▶ P.38～41
B 強みを生かした 成長戦略と 事業活動	Aを基盤に、社会的課題や市場ニーズを踏まえて策定した長期ビジョン、中期経営計画、マテリアリティを成長戦略として位置づけています。その戦略と営業・研究・生産の三位一体を特徴とする事業活動が結びつくことで好循環が生まれ、持続的な価値創造を実現しています。長期ビジョンでは、売上高営業利益率、ROE(自己資本当期純利益率)などの財務指標も明示しています。	▶ 社長メッセージ ▶ 長期ビジョン「LSV 2030」の全体像 ▶ マテリアリティ ▶ 財務戦略 CFOメッセージ ▶ 事業変革と成長加速に向けた重点施策 ▶ 事業戦略 ▶ P.8～13 ▶ P.14～15 ▶ P.16～17 ▶ P.18～21 ▶ P.22～29 ▶ P.30～35
C 経営資本	経営資本は、当社の競争優位の源泉であり、成長戦略や事業活動の実行を通じてさらに強化されていきます。サステナビリティ経営を通じて、事業活動と一体で経営資本の維持・強化に取り組んでいます。	▶ 財務戦略 CFOメッセージ ▶ 経営資本一覧 ▶ 研究開発・知的財産戦略 ▶ 生産戦略 ▶ 人材戦略 ▶ DX戦略 ▶ サステナビリティ戦略 ▶ 環境 ▶ 社会 ▶ P.18～21 ▶ P.36～37 ▶ P.42～44 ▶ P.45 ▶ P.46～47 ▶ P.48～49 ▶ P.50～51 ▶ P.52～55 ▶ P.56～58
D 目指す姿	AとBを軸とする事業活動により、「サステナブルな社会」の実現と企業としての持続的成長を両立させることで、資本効率の向上を伴う持続的な企業価値向上を実現していきます。	▶ 長期ビジョン「LSV 2030」の全体像 ▶ マテリアリティ ▶ P.14～15 ▶ P.16～17
E ガバナンス	A～Dの価値創造サイクル全体を規律し、その実効性を支えるのがガバナンスです。取締役会の監督機能や社外取締役によるけん制を通じて、資本効率を意識した経営と事業ポートフォリオの最適化を推進し、持続的な企業価値向上の実現を支えています。	▶ ガバナンス ▶ 独立社外取締役メッセージ ▶ P.59～63 ▶ P.64～65

編集方針

統合報告書は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、持続的成長と事業活動を通じてサステナブルな社会の実現に貢献することを目指す当社グループについてご理解を深めていただくことを目的としています。各種ガイドラインを参考に業績・財務情報だけでなく、これまで築き上げてきた人的資本や技術開発力など、財務諸表には載らない“見えざる資産”についてもご紹介しています。「統合報告書 2026」では、昨年に引き続き当社グループの強みを生かした価値創造の道筋や報告書全体を通じた情報のつながりを意識したほか、投資家の皆様から多く寄せられる質問に応えるコンテンツを拡充する構成といたしました。中長期的な成長戦略をご紹介する特集や、当社の強みであり競争力の源泉である営業・研究・生産の三位一体の体制をひもとく座談会企画などを通じて、当社グループの考え方をご理解いただく一助となれば幸いです。なお、当社ホームページやサステナビリティレポートには、本報告書にはない情報も掲載しておりますので併せてご参照ください。

参考にしたガイドライン

IFRS財団：「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省：「価値協創ガイドンス」



社 是



経営理念

社名の「リンテック」、すなわち“リンケージ(結合)”と“テクノロジー”および社は「至誠と創造」に裏付けされる人の和、技術開発力を基軸とし、国内・海外の業界において、誰からも信頼される力強い躍動感あふれる会社として社会に貢献し、株主各位・顧客・社員家族の期待に応える斬新な経営を推進します。

明日を考え、今日を築こう

For tomorrow we build today





About LINTEC

粘着素材と特殊紙の リーディングカンパニー

当社は1927年、包装用ガムテープの製造・販売で創業以来、粘着製品や関連機器、特殊紙など、さまざまな分野に事業領域を拡大しながら、今日まで着実に進化を遂げてきました。これはひとえに時代のニーズを敏感に捉え、技術開発力をもって着実に“答え”を出してきたからに他なりません。社会的課題が複雑化する現代においても、社は「至誠と創造」を胸に、各業界におけるリーディングカンパニーとして、新たな価値の創出に挑み続けています。

価値創造の源泉

価値創造の歩み

創生期～成長事業参入期

- 1927年 ■ 創業
■ 包装用ガムテープの製造・販売を開始
- 1960年 ■ 印刷用粘着紙の製造・販売を開始。
後に粘着フィルムの製造・販売にも着手
- 1972年 ■ ラベリングマシンの製造・販売を開始
- 1986年 ■ UV硬化型ダイシングテープを開発、半導体関連事業に本格参入

第二次創生期

- 1990年 ■ 3社合併によって
「リンテック株式会社」が誕生

FSK株式会社 粘着製品などの製造・販売

+

四国製紙株式会社 特殊紙や剥離紙などの製造・販売

+

創研化工株式会社 粘着紙や剥離フィルムなどの製造・販売



リンテック株式会社

- 1991年 ■ 光学ディスプレイ関連事業に
本格参入

成長期

- 2000年代 ■ アジアを中心に生産・販売網の構築・
拡大を進め、事業のグローバル化を
積極的に推進

成長加速期

- 2016年 ■ 米国の印刷用粘着紙・粘着フィルムメーカーであるマックタック・アメリカ社を買収し、北米市場でのビジネス展開を加速

当社サイトでは沿革に関するより
詳しい情報を御覧いただけます。
www.lintec.co.jp/company/history/

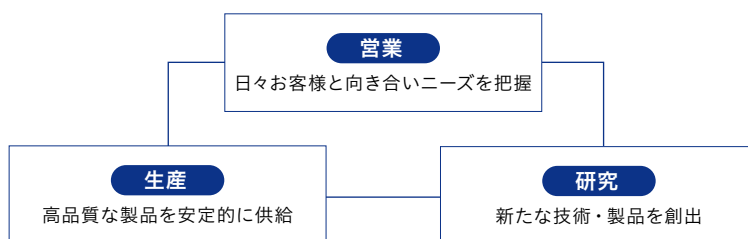


Strengths

ニーズを的確に捉える力

営業・研究・生産の三位一体の体制により、
ニーズの吸い上げから生産に至るまでをスピーディーかつ高精度に実現
(2026年3月期)

新製品売上高比率 **24.9%** 国内外参加展示会数 **46**件



顧客ニーズを的確に把握するために研究員が営業に同行してお客様を訪問したり、課題解決に向けて営業や研究員が生産現場に赴いたり、開発から販売までの各プロセスにおいて営業、研究、生産が三位一体となって取り組むことで、当社独自の価値を創造しています。

高度なカスタマイズ製品の早期

Business model

粘着製品の一貫生産、 素材と装置のトータル提案

当社が競合他社と一線を画している最大の特徴は、粘着製品における一貫生産体制と、素材と装置を組み合わせたトータル提案力を併せ持つビジネスモデルにあります。下図で示すように、粘着製品は、表面基材、粘着剤、剥離紙・剥離フィルムの3層で構成されています。当社は粘着剤の開発・塗工だけでなく、剥離紙用原紙の製造から基材の表面加工に至るまでの工程を自社でトータルに手がけるとともに、さらに粘着素材の特徴を最大限に引き出す関連装置の開発・製造も行っています。お客様の要望に細かく対応し、一品一様のカスタマイズ製品を提供できる独自の体制が、当社の競争力の源泉となっています。



技術開発力

四つの基盤技術を高次元で融合させることによって、より差別化された製品を創出

(2026年3月期)

開発製品数 **3,165** 国内外特許保有件数 **6,291** 件

四つの基盤技術

粘着応用技術

粘着剤、各種基材の開発およびその複合技術により、「貼る」「剥がす」という粘着製品の基本機能の応用領域を拡大します。

表面改質技術

紙やフィルムの表面に化学的・物理的処理を施すことで、その性能を高めたり、新たな機能を付加したりします。

システム化技術

機械・装置のシステム化をはじめ、素材の特性を生かした高度なシステム構築で、先進のソリューションをご提案します。

特殊紙・剥離材製造技術

独自の抄紙技術や塗工、含浸、貼合技術などを駆使し、従来の紙の概念を超える特殊機能紙や高付加価値材を開発します。



ラベル用粘着製品



半導体関連粘着テープ

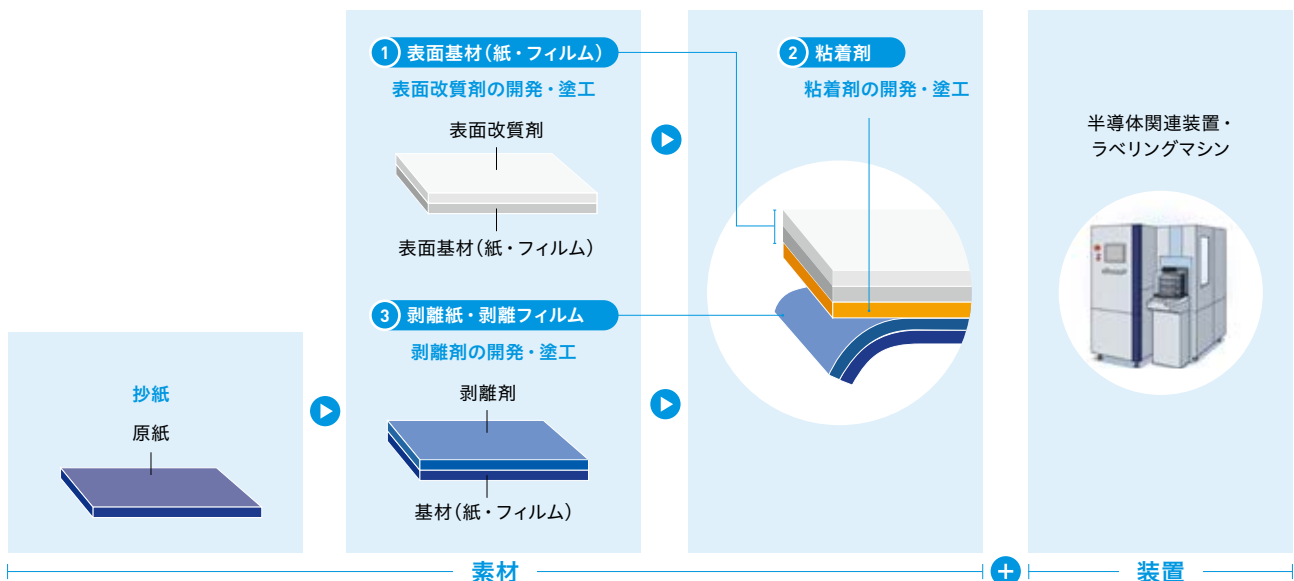


耐油紙

創出、信頼に基づいた強固で幅広い顧客基盤の獲得

粘着製品の一貫生産体制／素材と装置のトータル提案

粘着製品の一貫生産体制



価値創造プロセス

創業から現在に至るまで、当社グループは技術力や多様な人材、ステークホルダーとの信頼関係など数多くの“資産”を築き上げてきました。社は「至誠と創造」の下、これらの資産を活用してさまざまな製品を開発・製造・販売し、社会やお客様の課題解決に貢献しています。

経営資本

財務資本

▶ P.18～21参照

強固な財務基盤

自己資本比率 75.1%

人的資本

▶ P.42～43、P.46～47参照

多様な人材と企業風土

連結従業員数 5,237人

研究開発体制

研究員 約230人

知的資本

▶ P.42～44参照

四つの基盤技術と応用技術

国内外特許保有件数 6,291件

研究開発費 113億円

製造資本

▶ P.45参照

グローバル生産・販売体制

設備投資額 153億円

自然資本

▶ P.52～55参照

地球環境の調和

原材料 221.3千t

エネルギー総使用量 83千kl

社会関係資本

▶ P.56～58参照

ステークホルダーとの信頼関係

機関投資家・アナリスト面談

延べ284社

DX推進

▶ P.48～49参照

サステナブルな社会

社会的課題／市場ニーズ

事業活動

サステナブルな社会に
貢献するための

長期ビジョン「LSV 2030」

▶ P.14参照

営業・研究・生産の三位一体を軸とした

社は

至誠と創造

強み

ニーズを的確に捉える力

技術開発力

ビジネスモデル

粘着製品の一貫生産、
素材と装置のトータル提案

マーケットドリブン型の事業運営

■ 印刷材・産業工材関連
▶ P.30～31

印刷情報材事業部門
産業工材事業部門

ガバナンス ▶ P.59～65参照

中期経営計画

▶ P.15参照

マテリアリティ

▶ P.16～17参照

高度な
カスタマイズ製品の早期創出

信頼に基づいた
強固で幅広い
顧客基盤の獲得

- 電子・光学関連
▶ P.32～33

アドバンストマテリアルズ事業部門
オプティカル材事業部門

- 洋紙・加工材関連
▶ P.34～35

洋紙事業部門
加工材事業部門



実現に貢献



OUTCOME

社会的価値

SDGs達成への貢献



経済的価値

強固な財務基盤の維持と
資本効率の向上

etc.

再投資